

ニューズレター No.50

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2011(平成 23)年 11 月 28 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.50 をお届けいたします。今回は、11 月 10 日と 11 日に、名桜大学で実施された第 1 回 JADE テーマ研究会についてお知らせいたします。

第1回JADEテーマ研究会報告

「学生チューターの育成と学習支援」をテーマとする第 1 回 JADE テーマ研究会は、2011 年 11 月 10、11 日の両日、名桜大学において同大学との共催として開催されました。プログラムは、JADE 側から 4 つの講演と 2 つの一般発表、名桜大学側から 3 つの講演と 2 つの学習センター活動見学会の提供及びこれらに関する質疑応答と、大変充実したものでありました。特筆すべきは、名桜大学学習支援組織の学生の皆さんが、見学会、講演、質疑応答などあらゆる重要場面で研究会に参加してくれたことで、同大学の学生参加の諸活動の水準の高さを裏付けるものでした。協力頂いた学生の皆さん、裏方として御協力頂いた学生の皆さん、ならびに教職員の方々に心より御礼申し上げます。

また、9 月中旬の開催決定から日程上の余裕が無かったにもかかわらず、学会側の参加申込 18 名(内 1 名欠席の為参加は 17 名)と少なくない参加を得られたことは、このテーマに関する関心の高さと、JADE の実践的研究活動の活発さを示すものでした。

深く印象に残ったのは、名桜大学木村先生の御講演ならびに学生 4 団体代表の発言で明らかになった、同大学の学生による学習支援の特徴です。以下の 3 点にまとめてみました。

第 1 に、学習支援活動に参加する学生は、大学と自分に誇りを持ち、また、誇りを持てるような大学と自分であるために活動を行っていること。

第 2 に、温かな人間関係を形成することを指導者達は常に心がけておられ、それが学生達にも深く浸透し、活動の最大の特徴となっていること。

第 3 に、ITTPC 保証書や数学検定の特定水準の合格など、合理的な基準を守って長期にわたる活動を続けている

こと。

名桜大学の学生と教職員の皆さんが今後益々素晴らしい学習支援活動を繰り広げられ、そのことも一つの力として、同大学が一層の発展を遂げられますよう心よりお祈り申しあげ、報告といたします。

水町龍一

第6回九州・沖縄支部会 支部大会

期日:2011 年 12 月 17 日～18 日

場所:熊本県立大学(予定)

内容:特別講演、小野博ファウンダーからの現状報告、
熊本県もしくは熊本市の教育委員会の方などを交えた
シンポジウム等

情報交換会:12 月 17 日実施の予定

世話人:小藺和剛(支部長、熊本県立大)

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

原稿執筆要項などの改変

原稿表紙、割付見本(執筆要項)などの投稿に必要なファイルが、2011 年 9 月 13 日から変更されております。さらに、掲載に至らせる原稿内容を作成するための一助として、原稿執筆ガイドラインを用意いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

詳しくは、<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢